

安全データシート

新規作成 : 2011年 1月27日

改訂 : 2024年 4月 8日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : TDP-DA1

供給者情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門: 技術本部 安全環境品質保証部
問い合わせ窓口: 機能商品事業部 (電話番号: 03-5600-1488(代表))

推奨用途 : サーマルディジプレート用給湿液添加剤
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない又は分類できない
健康に対する有害性: 分類基準に該当しない又は分類できない
環境に対する有害性: 分類基準に該当しない又は分類できない

注意書き

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学品名又は一般名 : 給湿液添加剤
成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
グリセリン	(2)-242	56-81-5	60-80
水	対象外	7732-18-5	20-40

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入の可能性は少ないが、大量のミストを吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動してください。異常を感じた場合には速やかに医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合 : 接触すると炎症を起こすことがあります。直ちにきれいな流水で洗い流してください。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

眼に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗ってください。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していな

い限り、取り除いて洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けてください。

飲み込んだ場合 : 口をすすいでください。無理に吐かせないでください。直ちに医師に連絡してください。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 : 特になし。

特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火してください。

消火作業は、可能な限り風上から行ってください。関係者以外は安全な場所に待避させてください。周囲の設備などに散水して冷却してください。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行ってください。

保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用してください。

燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避けてください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など）を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。

環境に対する注意事項 :

ごく少量の場合は、大量の水で洗い流してください。漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 :

少量の場合、砂又は不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収してください。残りは河川等に流さないように水で洗い流してください。回収した液を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置してください。

火気を近づけないようにしてください。

安全取扱注意事項 : 作業場の換気は、強制換気を用いて十分に行ってください。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。

取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいを行ってください。

保管

適切な保管条件 : 通気の良い場所で容器を密閉して保管してください。

安全な容器・包装材料 : 製品使用容器に準じてください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置等、強制換気による換気

管理濃度 : 安衛法管理濃度 : 未設定

許容濃度：日本産業衛生学会：未設定
 ACGIH：未設定
 保護具：呼吸器 空気呼吸器、必要により有機溶剤用防毒マスク
 手 保護ゴム手袋
 眼 保護眼鏡
 皮膚及び身体 静電気防止加工長袖保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘性液体	色：無色
臭い：ほとんど無臭	pH(at 25°C)：4-7 (TDP-DA1：水=3：7)
沸点：198°C/5.3kPa (グリセリン)	融点(流動点)：20°C (グリセリン)
凝固点：約15°C (グリセリン)	
可燃性：データなし	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：検出せず	自然発火点：370°C (グリセリン)
分解温度：290°C (101Pa) (グリセリン)	蒸気圧：0.025mmHg (50°C) (グリセリン)
相対ガス密度：3.1 (air=1) (グリセリン)	動粘性率：データなし
密度及び/又は相対密度：1.1-1.3 (at 25°C)	溶解度：水に可溶
オクタノール/水分配係数：データなし	粒子特性：非該当

10. 安定性及び反応性

反応性：通常の取扱い条件下では安定である。
 化学的安定性：通常取扱い条件下では安定である。
 危険有害反応可能性：特になし
 避けるべき条件：特になし
 混触危険物質：特になし
 危険有害な分解生成物：特になし

11. 有害性情報

急性毒性：情報が少なく分類できない
 ・グリセリン LD50 12600mg/Kg (ラット経口)
 皮膚腐食性/刺激性：情報が少なく分類できない
 ・グリセリン ドレイズ法：ウサギ 500mg/24時間 (Mild)
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：情報が少なく分類できない
 ・グリセリン ドレイズ法：ウサギ 500mg/24時間 (Mild)
 呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報が少なく分類できない
 生殖細胞変異原性：情報が少なく分類できない
 発がん性：情報が少なく分類できない
 生殖毒性：情報が少なく分類できない
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)：情報が少なく分類できない
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)：情報が少なく分類できない
 誤えん有害性：情報が少なく分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性：製品としてのデータなし
 ・グリセリン コイ LC50：>1000mg/L (48h)

残留性・分解性：

- ・グリセリン 化審法生分解度試験 (OECD301C、Modified MITI test (I))
BOD生分解率 63%(14日後) (グリセリン)

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : 分類できない

(モントリオール議定書の付属書に記載される物質は使用していない)

他の有害性 : BOD5 0.58g/g (JIS K102)

COD (Cr) 1.1g/g (JIS K102)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、運搬、処理を委託してください。

汚染容器及び包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。

1 4. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による

国連分類及び国連番号 : 該当しない

1 5. 適用法令

安衛法 : 非該当

化管法 : 非該当

毒劇法 : 非該当

消防法 : 非危険物

1 6. その他の情報 (引用文献等)

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム (CHRIP)」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。